

旭田っ子だより

令和4年7月20日（水）

旭田小 学校だよりNo.5

文 責：校 長 天野 圭

【第一学期間 見守っていただき、ありがとうございました】

第一学期 71 日間が無事終了いたしました。子どもたちも大きな事故やケガがなく過ごすことができましたこと、保護者の皆様、地域の方々、関係機関の皆様に心より感謝申し上げます。

一学期もたくさんの行事がありました。コロナ禍の中ですが、感染対策を講じながら実施できたことは、子どもたちや私たちにとりましても、大変意味のある活動だったと思います。

各行事ともに、人数制限や時間短縮等で実施いたしましたが、御理解・御協力をいただきましたこと併せて感謝申し上げます。さて、年度当初「ほめ 認め 伸ばす 教育を」「自分たちの学校は自分たちで創る学校を」というお話をさせていただきました。

71 名という少人数を生かし、一人一人に寄り添った教育。自己肯定感を高めながら、自己存在感や満足感を味わうことのできる学級活動・児童会活動の充実を目指して参りましたが、各家庭や地域ではいかがだったでしょうか。学校では、担任や担当の職員の助言を聞きながら、一生懸命に活躍する子どもたちの姿をたくさん見ることができました。旭田小の子どもたちの一番のよさは、素直であること。そして、そのよさは地域で育まれ、地域に戻り、地域の伝統となっていること。これらの素晴らしさを大切にしながら、第二学期もさらに子どもたちの資質・能力の育成のため、力を発揮していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【第2回 旭田小学校学校運営協議会】

今月 15 日（金）に、第2回旭田小学校学校運営協議会を開催いたしました。水泳記録会を参観していただき、その後、校長室にて本年度の経営方針や運営ビジョンについて、お話をさせていただきました。その中で、いただいた御意見を記載いたします。

- 地域に呼びかけての草刈り等、よい取り組みである。
- 都会と田舎で、体力差が大きい。都会の子は歩く・電車に乗る・公園で遊ぶ等、日常的に運動や遊びに慣れ親しむ機会がある。学校に遊具を増やす等、日常的に遊びの中で体を動かす機会を増やしたい。
- 時間の使い方を含め、自立（自律）心を家庭で養っていききたい。
- 教師、保護者ともに、今までやってきたことを精査し、焦点化したい。等

5名の委員の方より、貴重な御意見を頂戴いたしました。今後の検討課題とさせていただきます。ありがとうございました。

【いつの時代になっても大切なこと】

今月 8 日（金）下郷町ふれあいセンターにおいて、町青少年主張発表大会がありました。町内小学校の5・6年生と中学生が参加しました。本校の代表児童2名も、素晴らしい発表をすることができました。発表後、各種コンクール等の表彰があったのですが、気になったことがありました。それは、児童・生徒の返事です。発達段階によっては、大きな声で返事をするのに躊躇するでしょう。しかし、表彰されるという名誉なことに、凛とした態度で臨み、しっかり受賞してほしいと思ったのは私だけでしょうか。正しいことを進んで行い、周りも本物を認め、称賛されるよい関係を構築することが町全体として大切ではないかと感じました。大好きな下郷町だからこそ。

避難訓練



交通教室



大運動会



遠足



修学旅行



宿泊学習



キャリア教育外部講師



放射線教育外部講師



水泳学習外部講師



縦割りゲーム集会



委員会による読み聞かせ



あいさつ名人表彰式



第1回草取り大会



七夕に願いを込めて



今年も川島様に竹をいただきました。